

館山

会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

2022 1

会員数 951 名

令和3年12月31日現在

●昭和51年7月10日第3種郵便物認可●令和4年1月10日発行(毎月1回10日発行)第648号●発行所/館山商工会議所●編集発行責任者/専務理事 上野 学●〒294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL0470-22-8330 FAX0470-23-4011 ●印刷所/株式会社 集賢舎●定価 1部 20円(購読料は会費に含まれています)

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます

◇新年のごあいさつ 館山商工会議所 会頭 石渡和男

◇2022年年頭所感

地域とともに、未来を創る

日本商工会議所 会頭 三村明夫

◇新年のごあいさつ

館山市の未来の姿の実現へ

館山市長 金丸謙一

◇新年のごあいさつ

千葉県知事 熊谷俊人

【令和3年度千葉県内商工会議所会頭・副会頭会議】

地域の課題を県に要望!

熊谷知事を交えて意見交換を実施

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～

利子補給(0.5%)制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「(株)日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
貸付限度額	2,000万円
返済期間	10年以内(*運転資金は7年以内)
利 率	年 1.21% (令和3年12月31日現在)
融 資 対 象	従業員(家族従事者、パート、法人の役員除く)が商業・サービス業は5名以下、製造業・その他は20名以下の小規模事業者

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。☎ 22 - 8330



館山商工会議所

会 頭 石 渡 和 男

新年、明けましておめでとうございます。

館山市民の皆様、会員の皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より商工会議所活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

引き続き会頭として令和4年を迎えることで、副会頭時代を含め、都合約8年の年月が経過し、これまでの活動を振り返りながら、前進していくことが、私のモットーでございます。年初めにあたり、今年の事業計画を立て、実践し、その結果を検証、分析し、修正しながら、少しずつ前進し、継続することが重要だと考えています。

現在も、コロナ禍で一進一退の状況が続いています。経営者としては、知識や経験に裏打ちされた内外の貴重な情報に耳を傾け、スタートラインに立ち、走り

出すことで、勝者とならんことを目指しましょう。会議所の事業につきまして、イベントや会議が延期や中止を余儀なくされ、思うように進まないことの連続ですが、会員の皆様と共に、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

まず、「あいさつ日本一のみち」の実現を提案します。館山市内の子ども、大人を問わず、常に明るく、元気な挨拶が出来る街をつくり、良好な人間関係を築くことで、住みやすさを実感できる、「あいさつ日本一のみち」を目指したいと考えています。

次に、これまで市内高校に向いて実施してきた「出前講座」のさらなる充実です。高校生に向けて、将来、この南房総地域で大きな夢を持って、働くことの意味を持続的に伝えていきます。その他、各委員会の活動についても気持ちを新た

に取り組んで行きたいと考えています。

館山市が推進、促進している「食のまちづくり」、「船形パイパスの建設、国道127号の4車線化など」につきまして、要望活動など全面的に協力していく所存です。さらに、市原、木更津、君津の各商工会議所と取り組んでいる、東京湾アクアライン通行料金800円の維持・恒久化、「(仮称)アクアステーション」の設置についても、全力でアプローチしていきたいと考えています。

令和元年の台風被害に加え、コロナ禍で非常に厳しい状況ですが、今こそ館山市民が全力で現状に立ち向かいます。社会は明るさを求めていますので、会員の皆様と共に、頑張りたいと思います。

結びに、今年が素晴らしい一年でありますようにご祈念申し上げます。あいなさつとさせていただきます。



法律・税務・商工相談

- 法 律 千葉県産業振興センター
- 税 務 佐藤 裕介 先生
根本 嘉美 先生
- 商標 特許 神崎 正浩 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。

会議所窓口相談

商工相談
金融相談

毎週水曜日

(電話相談随時
お気軽にご連絡下さい)

日本政策金融公庫
特別金融相談日

毎月第3金曜日

(事前にご連絡下さい)



会議所の貸し会議室で
フリー Wi-Fi が
お使いいただけるよう
になりました!

※ PW はご利用の際、事務局にお尋ねください。

「会議所だより」に広告を掲載される
会員事業所を募集しております!!

【掲載料】
約45mm×約85mm

10,800円~

問合せ 館山商工会議所
Tel. 0470-22-8330





副会頭
安田 信之

新年明けましておめでとうございます。
 会員の皆様には健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。
 日頃より会員皆様には、館山商工会議所の運営にご協力いただきありがとうございます。
 さて、昨年来、新型コロナウイルスが収まらず、日本のみならず世界を取り巻く経済環境は大きな打撃を受けています。しかしながら日本では、ワクチン接種が進み感染者数が少なくなくなり、緊急事態宣言がひとまず解除され、明るい兆しもあります。引き続き(第



副会頭
小金 晴男

新年あけましておめでとうございます。
 日頃より商工会議所の事業にご協力いただきありがとうございます。
 昨年、一昨年と新型コロナウイルスで、館山市内の商工および観光関連の皆様は、非常にご苦勞な一年であつた想いがします。
 今年は、コロナ禍の経済をどのように打ち勝つかが課題であり、商工会議所・館山市でこのコロナ禍を乗り越える新たな経済活性化の為に、成長戦略が必要と感じます。

我々会議所会員としては、人間関係や地域コミュニケーション、環境整備の必要性も感じられます。
 時代は「量より質！」持続可能な館山の経済を創りあげる一年にしなければなりません。
 館山商工会議所としてパワーを発揮し、皆様の協力を切にお願ひ申し上げ、素晴らしい年になることを願っています。

6波新型オミクロン株)の感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルアップに向けて、商工会議所活動に取り組んで行きたいと思ひます。
 また、この地域の5年後人口は8,400人減少すると言われていいます。少子高齢化により深刻な人手不足、後継者不足が考えられますが、会員皆様と一緒に頑張りたいと思ひます。
 結びに、会員事業所の皆様の益々のご発展とご健勝を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



館山商工会議所
 名誉会頭 本間 明
 会頭 石渡 和男
 副会頭 小金 晴男
 専務理事 安田 信之
 常務理事 伊豆野 栄二
 常務員 上野 学之

職員 監事
 一同 丸小川渡渡本御三本原野角館鈴島佐小古幸川加小伊豆
 林名辺邊橋德英 克明吉正陽正興房真右光克栄和 信晴和
 淳義克雄茂亮一重喜亨己行夫文一彦二信一子俊美二之学之男男明

ふるさとの味覚を自由に
 詰め合わせて

南房総GIFT

館山商工会館 物産展示場

天保年間創業・通産大臣賞受賞・全国伝統的工芸品
 千葉県指定伝統的工芸品 (小糸の煙火)

(有) 福山花火工場

代表取締役 小林 琢也

千葉県君津市外箕輪 4丁目10番20号
 ☎0439 (55) 7033

地域の課題を県へ要望！ 熊谷知事を交えて意見交換を実施

〈令和3年度千葉県内商工会議所会頭・副会頭会議を開催〉

千葉県商工会議所連合会では、11月19日（金）に県内21の商工会議所会頭・副会頭による会議を開催した。この会議には、熊谷俊人千葉県知事を筆頭に県庁部課長をお招きし、各地域における重要課題をそれぞれの正副会頭が直接要望した。

当所からは、石渡和男会頭、上野学専務理事が出席し、千葉県による早急な取組みが求められる地域の課題として、①「館山港多目的観光棧橋」の機能強化、②JR内房線の利便性向上、③幹線道路網の整備の3点について要望した。

具体的には「地域開発・地域振興」関係として、

①多様な船舶の一時寄港が可能となるよう「館山港多目的棧橋」の機能強化について要望した。

この要望事項に対し、県からの回答は以下のとおりであった。

館山港多目的棧橋は、平成22年の供用開始以来、「にっぽん丸」等の旅客船や、伊豆大島との観光船に利用されており、より多様な船舶に利用されるよう、小型船用棧橋の増設を行ってまいりました。

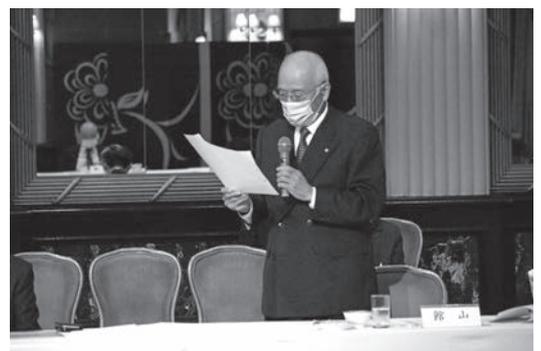
こうした中、棧橋の更なる利用増進に向け、棧橋を利用しての企業等へのヒアリングを行ったところ、棧橋先端部において、バスが安全に転回、待機できるスペースの確保を求める意見を多く頂いたところです。

このため、県では棧橋の安全性を向上させるため、棧橋

先端部の拡張を行うこととしており、これまでにバスの転回や待機に必要な施設の規模と配置について決定し、今年度から下部工の整備に着手してまいります。

高速ジェット船係留時の波浪対策については、これまでの調査では同棧橋の改良の参考となる事例が確認されていませんが、今後も、継続して技術革新などの情報の収集に努めてまいります。次に「交通網の整備」関係として、

②館山市を中心とした南房総地域における一層の観光振興と交流人口の拡大を実現するため、JR内房線において、観光客のニーズを捉えた列車の運行や、



快速列車の運行等による通勤・通学客の利便性向上、安全・安心な利用環境の維持などを行うことについて要望した。

この要望事項に対し、県からの回答は以下のとおりであった。

内房線は、沿線の地域住民の日常生活はもとより、南房総地域の観光をはじめとする地域振興のために、きわめて重要な路線であると認識しております。

そのため、県と市町村等で構成する「千葉県JR線複雑化等促進期成同盟」を通じて、JR東日本に対し、内房線の利便性向上について、毎年要望活動を行っているところであり、その中で、君津

充実した設備と細かいサービス

大型カラー印刷機完備 !!

- チラシ・パンフレット印刷
- オンデマンド印刷
データ入稿～印刷～製本
- 記念誌・自分史・郷土史
写真集・自費出版 etc...

株式会社 集賛舎

館山本社・館山工場
館山市山本226 〒294-0014
TEL.0470-22-2277
FAX.0470-23-2278

千葉支社(経営本部)
千葉市中央区生実町2498-8 〒260-0813
TEL.043-300-8661
FAX.043-300-8665

お気軽にお問合せください

SHUNSHAN

協豊自動車工業(株)

館山市湊427 本社 0470-22-5222

取締役会長 石渡 和男

- 新車販売
- 中古車販売
- 民間車検場
- 板金・塗装
- 自動車保険

自動車買取致します



駅での乗継改善、観光客の誘致を目的とした列車の運行、運行本数の維持などをお願いしています。

③南房総地域のポテンシャルを最大限に発揮させる幹線道路の整備について要望した。

この要望事項に対し、県からの回答は以下のとおりであった。

【一般国道富津館山道路の4車線化】
富津館山道路については、都市計画と事業実施に必要なとなる環境アセスメントの手続きを、沿線市町と連携し進めているところであり、引き続き早期4車線の事業化が図られるよう取り組んでまいります。

【国道127号館山バイパスの早期4車線化及び地域防災力強化及び防災・減災を図るための道路防災対策】

富浦インターチェンジから館山市内までの国道127号の館富トンネルを含む延長約1キロメートル区間の4車線化については、国において、令和2年度から改良工事が進められており、

今年度はトンネル詳細設計に着手する予定と聞いております。

当該区間の4車線化の早期整備が図られるとともに、災害に強い、安全・安心な道路交通の確保に向け、国道127号防災事業が推進されるよう、引き続き国に働きかけてまいります。

【地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期具体化及び整備】

館山・鴨川間の道路については、地元市町とともに、優先整備区間を検討するため、道路交通に関する課題の抽出や整理を進めているところです。

県としては、引き続き、地域が目指すまちづくりの将来像などを踏まえ、検討を深めてまいります。

【東京湾口道路の早期具体化】

県としては、引き続き、東京湾口道路の実現に必要な調査について国に要望してまいります。

【船形バイパスの早期完成】

船形バイパスのうち、県が県道犬掛館山線のバイパスとして整備している0.5キロメートル区間については、現在、用地取得率が約8割となっております。

を進めるとともに、今年度は、まとまった用地を確保できた箇所から、道路改良工事に着手する予定です。

以上のように、当所より提出した要望に対し千葉県から回答を受けた。当所では今後も、館山市ならびに関係団体と連携・協力を強化しながら、地域活性化・地域社会の発展に資するよう、要望の実現を目指して商工業者の意見を集約し、具申して参ります。



丸高ライフエナジー株式会社

<p>カーライフの ホットステーション</p> <p style="text-align: center;"><i>Tree Pit Garden</i></p> <p>テックピット ガーデン ☎0470 (22) 7221</p>	<p>24時間体制で 安心をお届けする</p> <p>ホームガスプラザ丸高</p> <p style="text-align: center;">☎0470 (23) 8155</p>
---	---



**あなたのため、
大切な人のために。**

●お引受けには所定の条件があります。本掲載商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」 「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

AXA-A1-1903-0516/9F7

アクサ生命

病気やケガに一生準備したい方も、
特にガンが心配な方も、
必要な保障にあわせて保険をお選びいただけます。

アクサの医療保険シリーズ

<p>短期入院や通院、 最新の医療事情に対応した 一生涯の医療保険</p> <p style="text-align: center;">スマート・ケア</p> <p>医療治療保険 (無解約払いもどし金型)</p>	<p>持病のある方や、 過去に入院・手術を された方へ</p> <p style="text-align: center;">スマート・ケア</p> <p>限定告知型終身医療保険(無解約払戻金型)</p>
<p>変化するさまざまな ガン治療に 備えたい方へ</p> <p style="text-align: center;">マイセラピー</p> <p>ガン治療保険(無解約払いもどし金型)</p>	<p>一生保障の医療保険</p> <p style="text-align: center;">スマート・ケア</p> <p>with You</p> <p>治療保障のガン保険</p> <p style="text-align: center;">マイセラピー</p>

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(甲慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
千葉支社 木更津営業所
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜1-17-59 木更津商工会館 5F
TEL 0438-37-9954



地域とともに、未来を創る



日本商工会議所
会 頭 三 村 明 夫

明けましておめでとうございませう。

2022年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨秋以降、国内では新型コロナウイルス新規感染者数が著しく減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜びたいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは予断を許さないものの、商工会議所は、本年を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や規模により回復度合いが異なる「K字型回復」の状況が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨

年政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確に示す必要があります。

第2次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守ることができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に對するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済成長を図るためには、一國の豊か

さを示す総合的な指標である「1人当たりGDP」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在成長率の底上げを図る必要があります。特に、雇用の約7割を占める中小企業の生産性を引き上げることは、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、デジタル化の推進、「S+3E」の原則を踏まえたバランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠です。通商面では、TPPやRCEPの成果を踏まえ、同じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべきです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は本年、特に以下3点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活

用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、越境EC等を通じた販路拡大、さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、大企業と中小企業で構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分かち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が4千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京一極集中と言われますが、実際には一次産業の成長産業化、イ

ンフラ整備を通じた製造業の集積、インバウンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、東京圏よりも高い経済成長率を実現しております。コロナ禍を契機としたさらなる地方分散化の動きもみられる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげていくことは、レジリエントな日本の国土形成のためにも不可欠です。商工会議所は、地域総合経済団体として地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の100年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、515商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

館山市の未来の姿の実現へ



館山市長

金丸謙一

新年明けましておめでとう
ございます。皆様方には健やか
な新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス
感染症の感染拡大による緊
急事態宣言の発出等により、
市民生活に多大な影響があつ
た一年でした。

国内における感染拡大時に
は、市民の皆様には度重なる
外出の自粛や、基本的な感染
防止対策の徹底をお願いする
こととなりましたが、皆様の
ご協力により、感染状況は一
定程度の抑え込みができてい
るものと考えています。

しかしながら、新たな変異
株の出現や、ワクチン接種後
の「ブレイクスルー感染」など
も懸念されるため、私たちは
今後も感染防止対策を徹底し
て、警戒を続けなければなり
ません。

そうした中、新型コロナウ
イルスワクチン接種について
は、接種対象者のうち約九割
の方々の二回接種が完了しま
した。

本年も安房医師会のご協力
のもと、安全かつ着実な三回
目の接種に向け、取り組んで
いきます。

さて、令和四年に重点的に
取り組む施策について、第四
次館山市総合計画「後期基本
計画」の七つの基本目標に分
けてご説明します。

「産業・経済」では、食のま
づくりの中核となる「食のま
ちづくり拠点施設」の整備に
ついては、令和五年度中の施
設のオープンに向けて取り組
んでいきます。

地域共通の課題である有害
鳥獣対策では、捕獲したイノ
シシなどの処分に係る負担軽
減と埋却処分による環境汚染
対策を図るため、捕獲個体の
処理施設の整備に着手しまし
た。

昨年十二月にオープンした
「館山ジビエセンター」では、
館山産ジビエのブランド化に
よる産業振興を目指すとともに、
捕獲者などのジビエの担
い手の育成やジビエの加工処
理など、捕獲から供給までの

総合的な運営に取り組んでい
きます。

新たなワークスタイルを創
出するための、テレワークや
ワーケーションをはじめ、起
業・創業等の促進を図るため、
リノベーションまちづくりを
推進します。

新型コロナウイルス感染症
の感染拡大により影響を受け
た市民生活や地域経済への対
策については、事業者を対象
に館山市中小企業等事業継続
支援給付金の交付を実施して
おりますが、本年も引き続き、
国や千葉県の動向を注視しな
がら、適切に対応していきま
す。

「子育て・福祉・医療」では、
幼児の健やかな成長と保護者
の子育てを支援するため、北
条幼稚園に続き、本年四月よ
り那古幼稚園の長時間預かり
保育を開始します。これによ
り、朝七時半から夕方六時ま
での利用が可能となります。

「教育・文化」では、昨年四月
に開校した「館山中学校」は、
旧第三中学校の跡地に、新校
舎などの建設を進め、より良
い教育環境の充実に取り組ん
でいきます。

また、次世代の担い手であ
る若者の教育に携わっている
高等学校等と意見交換を行
い、魅力ある学校になるため
の取り組みを進めます。

「基盤整備」では、道路ネッ
トワークの整備や観光振興に
よる地域活性化、歩行者の安
全対策、災害時の避難路確保、
冠水被害の解消を図るため、
館山バイパスの四車線化、館
富トンネルの工事開始をはじ
め、引き続き、船形バイパスの
整備を進めます。

また、持続可能で利便性の
高い公共交通ネットワークの
確保・維持を図ります。

「環境共生」については、老
朽化した館山市清掃センター
の長寿命化を図るため、基幹
的設備改良工事を着実に進め
ます。

また、昨年八月に表明した
「館山市ゼロカーボンシテイ
宣言」については、2050年
カーボンニュートラルを目指
し、可燃ごみの減量化にも取
り組んでいきます。

「防災・安全」では、令和元年
房総半島台風による甚大な被
害は記憶に新しいところですが、
近年の気候変動の影響によ
る風水害の増加、首都直下
地震や南海トラフ地震の発生
確率が高まっています。

館山市は、約34.3キロメー
トルに及ぶ変化に富んだ海岸
線を有する立地から、台風や
地震・津波などの自然災害へ
の備えに万全を期す必要があ
ります。こうした状況を踏ま
え、引き続き、総合的な防災力

の強化に努めます。

「市民参画・行政運営」では、
「定住自立圏形成協定」を締結
した南房総市と共に「共生ビ
ジョン」を策定し、公共交通、
商工業、観光などの分野にお
いて連携を強化します。

また、魅力ある返礼品の拡
充や特徴のある寄附の使途の
設定、インターネット媒体を
中心としたPRの強化などに
より、ふるさと納税の増加に
努めるほか、デジタルトラ
ンスフォーメーションを推進
し、市民サービスの利便性の
向上と業務の効率化を進めま
す。

こうした施策に加え、後期
基本計画において「重点施策」
として位置付けた計画事業も
推進することにより、豊かな
自然、郷土の歴史・文化など、
多様な地域資源の積極的な発
信や、仕事を創出し、多様な人
が個性や能力を発揮でき、互
いに支え合い認め合うことが
できる誰もが住み続けたいと
思えるまちづくりの実現に向
け、職員と共に一丸となって
取り組んでまいります。

結びに、本年も市政運営に
ご理解、ご協力をお願い申し
上げますとともに、皆様のご
健勝とご多幸を心からお祈り
し、年頭の挨拶といたします。

新年のあいさつ



千葉県知事

熊谷 俊 人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

商工会議所及び会員事業所の皆様には、日頃から本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年4月に千葉県知事に就任して以来、全力で県政運営に取り組んでまいりました。

昨年も、新型コロナウイルス感染症による厳しい試練の年となりましたが、県民の皆様をはじめ、医療従事者、事業者の皆様には、一年を通じて多大な御協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での選手の皆様のご活躍は、大きな勇気と感動を与えてくれました。開催に当たって御尽力いただきました関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

まず、新型コロナウイルス

感染症対策ですが、これまでの課題を踏まえながら、着実に準備を進めてきたところで

昨年11月に策定した保健・医療提供体制確保計画に基づき、対策の基本となる病床確保や、最前線での対応にあたる保健所の更なる体制強化に取り組むとともに、社会経済活動との両立を進めるため、飲食や観光をはじめ、落ち込んだ産業の支援にも力を尽くしてまいります。

「県民の安全・安心を守る」ことは県政の基本の一つです。

令和元年房総半島台風等により大きな被害を受けた千葉県だからこそ、この教訓に学び、県民の皆様とともに災害対策を進めていかなければいけません。

過去の経験を踏まえ、大規模停電に備えるため、災害に強い送電網の構築、再生可能エネルギーを含めた発電方式の多様化等に、関係機関と連携して取り組んでいるところ

です。

併せて、災害に強い河川や道路ネットワークの整備、ICT等を活用した迅速な情報収集等を進め、全国でも先進的な対策に取り組む災害に強い県づくりを推進してまいります。

また、打撃を受けた経済産業活動の回復は急務です。

飲食や観光をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業種の方々から悲痛な声が寄せられており、中小事業者による円滑な資金調達や、戦略的なプロモーションを通じた観光需要の回復等に取り組んでまいります。

他方、未来に向けては、成田空港の更なる機能強化や圏央道等道路ネットワークの整備が進むほか、カーボンニュートラル等の動きも加速化していきます。

立地優位性の高まりを活かした企業立地の促進や、洋上風力発電等の新たな産業の振興、中小企業のデジタル技術の導入支援等により、地域経済の活性化を図ってまいります。

農林水産業について、千葉県は全国屈指の県です。

新品種の開発も進めており、カラーの「ブリリアント・ベル」がデビューしました。今後も農林水産物のブランド化を支援し、その魅力を内

外に発信してまいります。

交通ネットワークは活力ある経済産業活動の基盤です。大動脈である首都圏中央連絡自動車道の令和6年度の全線開通や、北千葉道路の早期整備、富津館山道路の4車線化に取り組むとともに、広域的な幹線道路と各地域を結ぶ銚子連絡道路や長生グリーンラインの整備を進めてまいります。

また、新たな湾岸道路や千葉北西連絡道路について、計画の早期具体化に取り組むほか、東京湾アクアラインの通行料金引き下げの継続に向け、国等に働きかけてまいります。

本県においても、高齢者人口の増加が急速に進む中、これに伴う医療介護需要に対応していかねばいけません。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、改めて各地域において医療資源を確保することの重要性を認識したところです。

住み慣れた場所で安心して医療が受けられるよう、医師・看護職員の確保・定着対策や再就業支援、医師不足地域への医師派遣等を行っていくほか、介護人材の確保に向けても、養成支援や定着支援等の取組を進めてまいります。

「豊かな自然を活かす」こと

は千葉県の大きな強みになります。

本県は首都圏にありながら三方を海に囲まれ、また、里山など身近に豊かな自然が残る特色ある県であり、本年秋季には海の上を疾走する、ちばアクアラインマラソンの開催も予定されています。

半島性等、本県の特性により育まれた食文化や伝統文化、芸術等、多様な魅力を「ちば文化」としてブランド化し、千葉らしいライフスタイルを魅力あるものとして次世代につなげていきたいと考えています。

現在、県では、県政運営の基本となる「総合計画」を策定しているところです。県が目指す10年後の姿と、今後3カ年の重点施策について取りまとめる予定であり、SDGsなどを施策横断的な視点として位置付け、事業を実施することとしています。

全ての県民の皆様が生きる価値、働く価値を感じられる千葉の未来の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

結びに商工会議所及び会員事業所の皆様のますますの御発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。